

あいほら やすのぶ
相原 康伸

新たな年に寄せて

●連合・事務局長

新年あけましておめでとうございます。
皆様方にとり、幸多い一年となりますよう、
心よりご祈念申し上げます。

置き忘れていたものはありませんか

世界が新たなウイルスとの闘いに挑み続けた昨年。歴史には人類が未曾有の不連続を経験した一年と刻まれるのかもしれませんが。

そして本年。医学・疫学などの叡智を総動員しながら、感染拡大を抑え込み、経済・社会の安定の糸口を見出す一年としなければなりません。同時に、年が改まった今こそ、日常生活を細かに顧みる努力をどこかに置き忘れることなく、一人ひとりの実践で、トンネルの先に灯りを見いだす一年としたいものです。

結節点

医療従事者をはじめ、様々な働く仲間への誹謗中傷があとをたちません。この厄介なウイルスは、人間同士の絆の強さを試しているかのようです。誹謗中傷の数々は、人間自身もつ弱さを示すバロメーター。その意味では、コロナウイルスの罪は、人体を冒すだけでなく、人間社会を劣化させる毒素をばら撒き続けていることにあります。弱者を直撃する感染拡大であると同時に、全ての人間の心に棲む弱さに猛烈なアタックを仕掛けている現実を私たちが、真正面から見据え、適切に対応する必要があります。

新たな一年がスタートした今。次なる社会づくりへの「結節点」として、しっかりと、人心を繋ぎながら、新たな年を形作って参りましょう。私たちの一人ひとりが結節点づくりの源です。

識者の見解

連合は、昨年6月から8月にかけて、「コロナ時代を考える 有識者との緊急勉強会」として、経済・社会、人工知能、雇用と暮らし、地域社会、民主主義、政治・行政、労働運動など、その第一線で論陣を張る方々をお招きして勉強会を開催しました。

計12回の勉強会を通じて各識者からは、①今回のコロナ禍を経て、時代は大きく変化していく、②社会の劣化が進む、③大騒ぎはするが結局のところ社会は変わらない。の3つのアプローチからの知見の共有がありました。それは、最先端を走る識者の皆さんから、時代はこのような姿になっていくよ、という「答え」を心のどこかで期待していた私にとってはある意味意外であり、同時に、その「答え」は自分たちが既に示していた、これは啓示的だどつくづく痛感した次第です。それは、コロナ感染拡大が進む前、一昨年秋の連合大会で、「私たちが未来を変える」という連合ビジョンを提起していたからです。まさに、時代をどのように作っていくかは私たち自身に与えられた責務。大いに議論し、躍動的な新たな一年としていきたいものです。



共有する理念

連合は、昨年、「共有する理念」—命とくらしを守る「新しい標準（ニューノーマル）」を創る—を取りまとめました。柱は次の5つから構成されていますが、本年は、衆議院議員の任期満了を控え、解散総選挙が行われる年となります。そうしたことも一つの契機として、今後一層、内容に肉付けしながら、幅広く社会へ発信し、連合が考える社会像に共感、共鳴頂ける皆さんとの対話を重ねていきたいと思えます。

1. 命とくらしを守る生活保障（セーフティネット）が確立され、働き方・くらし方を柔軟に選択できる安心社会
2. 将来世代へ希望が繋がる持続可能な社会
3. 命とくらしを中心に据えた新しい資本主義
4. 「新しい豊かさを地方から」創り出す、地域が主役となる社会
5. 健全な民主主義と機能する政府・地方行政

いつでもそばにいる存在

「ソーシャルディスタンス」なるワードは、距離という具体的な物差しが伴ったこともあり、瞬く間に多くの人々に行き渡ることとなりました。一方で、私たちが、かねてより発信してきたワードに「ソーシャルダイアログ」があります。同じソーシャルでも、その広がり具合には大きな差がついたと言わざるを得ません。改めて、なお一層の努力の必要性を再確認しているところです。

社会課題の解決は、一朝一夕でなせるものではありません。だからといって、手をこまねいている余裕も今の日本にはありません。果敢に判断し、スピード感を持って物事の本質を捉えて、解決に当たっていく。企業であれ、政治であれ、多くのセクターが自らの力を発揮するとともに、協力、協調する中から、新たなエネルギーを宿らせる。そうした社会のあり様を本年は形にしていきたいものです。連合は、いつでもそばにいる存在として、改革と前進、協力と参加を基盤に前進を続けます。

健康と安全が保たれる社会、職場、家庭

連合は昨年、結成30周年で掲げた「連合ビジョン」を土台として、様々な新たな取り組みに着手し、一つひとつ運動、活動を積み上げてきました。それは、コロナ禍における「制約」を跳ね返すチャレンジでもあり、トライアンドエラーの塊とも言えます。一方で、困難に直面する働く仲間のあまりの多さを日々、痛感する中、ナショナルセンター連合として、まだまだ、その役割を発揮し、社会からの期待に大いに応えていかなくてはならないと決意するところです。そして、その先に、健康と安全が保たれる社会、職場、そして、家庭の姿をはっきりと映し出していきたいと思えます。